

# 向丘出張所の今後の活用方針

川崎市議会議員 矢沢たかお

2月13日から3月19日の会期で市議会第1回定例会が行われています。予算審査特別委員会で取り上げたテーマのうち、今回は令和4年2月に策定された「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」の取組状況と今後についてご報告致します。

本方針は鷺沼駅再開発に伴う公共機能の移転を契機として、地域バランスへの配慮から策定され

方針策定から3年を迎える中で、これまでの取組と成果、次年度予算の内容を宮前区長に質問し、その将来像の実現にました。市民意見を整理し、求められる機能を8つにまとめ、それぞれの取組を推進していくものとに、出張所前のバスベイ

設置工事と合わせた厅舎

へのアプローチの改善工事や休日等の厅舎活用など、出張所での活動や地域交流を促す取組を進めています。本方針では「求めら

れる8つの機能と31の具体的な施策」が掲げられていました。本方針では「求めら

れる8つの機能と31の具体的な施策」が掲げられていました。本方針では「求めら

行政手続きに課題

多世代が気軽に立ち寄り、人や活動がつながる、向丘地区の核となる

進捗が見られない代表的な事業が「行政手続き」に関するものです。向丘出張所における「オンライン相談や手続きについて」と答弁しました。本方針では「求めら

れる8つの機能と31の具体的な施策」が掲げられていました。本方針では「求めら

す。一つ一つをしっかりと棚卸し、市民や議会に周知していく事を求めたところ、市民文化局長からは「市政だより宮前区版で特集記事を掲載するなど、周知に取り組んでいた。最後に出張所の将来像について、区長から「地域の暮らしを支える

版についても検討し、市民サービスの向上に取り組んでいく」と答弁しました。最後に、出張所の将来像について、区長から「地域の暮らしを支える



質問の様子

改修など成果が上がっているものもあれば、進捗していない施策もありま

していい方針をしっかりと棚卸し、市民や議会に周知していくことを求めたところ、市民文化局長は「オンライン相談については導入事例の調査や課題の整理に時間を要して着手出来ていません。デジタルデバ